



Subaru

男声合唱団 ニュース№590

16. 11. 16

「2016 日本のうたごえ祭典 in えひめ」 平和な未来を願い、生きる希望を歌おう！ 全国のうたごえの仲間が松山へ！

11月11～
13日

□「2016日本のうたごえ祭典 in えひめ」は「いのち輝く未来へ 平和と希望をうたおう」のメインメッセージのもと、四国松山へ全国からうたごえの仲間が集まりました。12日(土)の「大音楽会」には、12:00～15:30 ひめぎんホールで3,000人の参加を得て、また18:30～20:30には「特別音楽会」がひめぎん大ホールを満員にして、多彩なプログラム編成の演奏が披露され、多くのうたごえの仲間に大きな感動を与えました。

また1日目の11日(金)と3日目13日(日)の2日にわたって、松山市内の各会場で合唱発表会が開催されました。（「交流Ⅰ」(21合唱団)、「女性の部」(27団体)、「一般の部A」(47団体)、「オリジナル」(35団体)、「交流Ⅱ」(30合唱団)、「一般の部B」(30団体)、「小編成の部」(37団体)、「職場の部」(33団体)

男声合唱団「昴」は13日(日)の一般の部B(30団体)に出場し、「白樺」「わしらの朝は海からはじまる」の2曲を熱唱し、会場に「昴のこころ」を響かせ、見事銅賞に輝きました。指揮は本並先生。ピアノは西應静さん。参加者は全38名でした。(昴関係は後述)



□ 昴のメンバーは「大音楽会」と「特別音楽会」に参加しました。また昴のメンバーの中からも「大音楽会」の「シニアのうたごえ」「働く仲間のうたごえ」や「特別音楽会」の「日本のうたごえ合唱団」等に出演しました。

□ 「大音楽会」はオープニング「四国へようこそ！ 歓迎のうたごえと郷土芸能」で始まりました。「伊予の松山水軍和太鼓」の演奏、高知の「よさこい踊り」、「正岡子規」が「野球」と名付けた愛媛の「野球拳」、そして徳島の「阿波踊り」とにぎやかな鳴り物入り。最後に「この街で」の大合唱・・・「この街で生まれ、この街で育ち、この街で恋をし、この街で結ばれ、この街で子供を産み育て、・・・いつかおじいちゃんとおばあちゃんになって、一緒に歩いていきたい！」となんと幸せな人生だろう！ 聞いていて心暖かく慰められる歌で迎えられました。

□ 第1ステージ「湧き起これ！ 輝け！ 希望あふれるうたごえよ！」ではまず 200 人の「シニアのうたごえ」。私たちシニア層でよく歌われている「かけがえのない人生を」・・・「さあ歩いていこう

かけがえのない人生を・・・みんなと一緒に」、そして今回初公開の大西進さんの創作曲「力あわせて」：「こんなはずではなかったと・・・」シニア層の心の中を歌い上げたうた。シニア層の言いたいことを言ってくれている気持ちぴったりの歌。これからいろんな合唱団で歌われるであろうことを予想させる楽しい曲が元気いっぱいので歌われました。



□ 「青年と保育の合同ステージ」「愛媛

青年合唱団」がリーダーシップを発揮して 200 人の青年が心ひとつにして舞台上

立ちました。「世界で一番好きな人」「楽しいことをいっぱい」「陽気に生きようこの人生をさ」の 3 曲を、若者・青年の恋愛、人生、社会を、若者の気持ちを歌い上げました。「陽気に生きようこの人生をさ」では、ジャズオーケストラの演奏をバックにした彼らの混声の明るく元気な声が会場を圧倒し、聴衆と一体となって歌声と手拍子が沸き起こり、大きな拍手と歓声に包まれました。





”と沁みてくる感動のうたごえになりました。

□「働く仲間のうたごえ」この「大音楽会」のなかでもひとときわ光っていた働く現役の人々の合唱。厳しい労働環境・条件の中で懸命に生きている労働者・勤労者のうたごえ、JAL 首切り撤回の闘いを6年間続けている争議団のメンバーたちも合唱の最前列で力強く歌っていました。「**並んで歩かなくても**」「**翼をください**」「**翼よ高く輝け**」「**人間の歌**」「**おれたちのシルクロード**」の5曲。

どの曲も彼らが歌うと聞く人々の心に“ジーン”

□愛媛出身のプロ歌手「秋川雅史と女性のうたごえ」では、「慕情」「君に告げてよ」をTVで聞き慣れた歌手の生の声を間近に聴き、特に「千の風になって」はバックの女性コーラス（400名）とよく合せて聞かせる曲となりました。



□第2ステージ「国のすみずみから平和と連帯のうたごえを」では、「平和・広島長崎の原爆被爆・福島原発・沖縄の闘い」と私たちが生きる今をキーワードにした感動的な合唱・独唱・演奏が繰り広げられました。

□「被爆ピアノの演奏」では、71年前に被爆したピアノがステージに運び込まれ、好井俊彦さん（「クラッシュ・ジャズ・オーケストラ」のピアニストで被爆2世）の演奏のもと、ソプラノ歌手太田真季さんが「死んだ女の子」を歌われました。

引き続き「好井俊彦とクラッシュ・ジャズ・オーケストラ」が永六輔作詞・中村八大作曲の「遠くへ行きたい」とビリー・ストレイホーンの「A列車で行こう」のジャズがピアノと管楽器で会場いっぱい響き渡りました。

□「福島からのメッセージ」では、「東日本大震災と原発事故から6年近くたった今も以前の生活に戻れない福島。そんな福島で私たちは生きてると伝えたい」の思いを込めた合唱構成「福島に生きる」が福島・東北から参加した200人の人々で歌い上げられました。厳しい生活・厳しい現実のなかから、「原発NO!!!」の強い気持ちが伝わりました。

No.590(3/6)





□「原爆に思いを馳せて「平和の旅へを歌う」では、長崎に原爆が投下されて71年。その原爆に16歳の少女時代に被爆された故渡辺千恵子さんの半生を物語風の語り部と合唱で作り上げた合唱組曲「平和の鐘を鳴らそう」が「九州ブロックのみなさん中心」に演奏されました。51歳になってから亡くなられるまで、車椅子の体で自分の被爆体験を話され「原水爆禁止運動」の

先頭を歩かれたことは未だ記憶に新しいことでしょう。会場のあちこちから涙をぬぐう姿が見られました。

□「大音楽会」は「沖縄と連帯して」のステージで締められました。基地の島沖縄の闘いと連帯して「平和に生きる権利」と辺野古の海を守る創作曲「命の海 命の森 命の山々」の2曲が全国合唱団合同のメンバーで歌われました。



□「特別音楽会」は聴かせどころ・見せどころたっぷりのプログラムで、舞台と聴衆は一体感のもと大いに盛り上がった感動的な音楽会となりました。

□オープニングでは、小学5年生の少年が世界の平和を願って作った詩にお母さんたちが曲を付けた「ぼくらの地球」。そして三島高校書道部の若者たち10人がKANの「愛は勝つ」の合唱をバックにして、太筆たっぷりに「うたごえ in えひめ」への”歓迎“の書道パフォーマンスを繰り広げ、見事な作品に会場は大きな拍手と歓びのどよめきに包まれました。

□「OH!人生男声合唱団」は、我々「昴」と同じく、“歳を重ねた男たちが、人生の悲哀と喜びを味わい深く歌い上げる”と、パフォーマンスたっぷり、ユーモアあふれるオリジナリティーのステージに、会場は「OH!人生男声合唱団」の色に染まりました。

□「歓迎のうたごえ」では、二人のソプラノ歌手が独唱されました。愛媛で長年合唱活動を指導してこられ、愛媛合唱連盟理事長の要職で活躍しておられる市村公子さん。中田喜直作曲の「むこうむこう」と「小さな秋みつけた」、そしてアイルランド民謡「庭の千草」、オペラ「ラ・ボエーム」より「私が街を歩くと」を情感豊かに歌い上げられました。



高知県出身の岡村知由紀さんは、現在ヨーロッパで活躍している現役のプロソリスト。オペラから2曲を歌い、若々しく伸びやかなソプラノの美声をホールに響かせました。

□毎年「日本のうたごえ祭典」に向けて全国の有志のメンバーが歌う「日本のうたごえ合唱団」（守屋博之さん指揮）、「山賊のギャロップ」（非常に“紳士的な”声の山賊たち!?)、「ひとりの歌」“世界中を光で満たそう（愛で満たそう） 平和と自由のために そして勇気

を出して、・・・その中をひとりひとり行こう”。そして現代の危機的な世相に警告を鳴らしている「魔女はだれだ」の3曲を今年は150人のメンバーで歌い上げました。

□「アコーディオン ソロ 松永勇次の世界」

アコーディオン独奏の舞台ではパブロ・カザルスの有名な「鳥の歌」で場内は静まりかえり、その哀愁あるアコーディオンのメロディーが鳴り響きました。続く「ツゴイネルワイゼン」有名なサラサーテの曲。独特の松永さんの低音をベースにした曲想に聴衆は酔いしれました。



□最終章は「池辺晋一郎委嘱作品を歌う」高知センター合唱団・愛媛合唱団を中心の合唱が混声成合唱組曲「あなたにできること」と大合唱で感動的な「アメージンググレース」を池辺晋一郎さんの指揮で歌われました。

最後に「浅井敬壹と歌う合唱団」は総数200人が舞台いっぱいにして、浅井敬壹の指揮で「夕焼け」と「大地讃頌」を高らかな大合唱で歌い上げフィナーレとなりました。



昂「白樺」「わしらの朝は海からはじまる」 を熱唱！ 銅賞を受賞!!(3年続きの受賞)

□合唱発表会「一般の部B」(26人以上)で男声合唱団昂は、本並先生の指揮、西應静さんのピアノで「白樺」と「わしらの朝は海からはじまる」(アカペラ)の2曲を合唱し、見事銅賞の榮譽に輝きました。

一昨年の宮城の銀賞、昨年の愛知のうたごえの銅賞に引き続き、3年連続の受賞となりました。参加者は全38名(団員36名+指揮者+ピアニスト)でした。

□昂の「聴く人の心にしみわたる、感動を呼び起こす男声のうたごえを!」「重厚なそしてソフトな、無理のない発声とともにボリューム感のあるうたごえ、ffで大きく歌ってもいい音色の男の声を!」めざしてこれからも歌い続けましょう!



なお、大阪で入賞した団体は以下の通りです。

- | | | | | |
|--------|----|--------------------|----|------------------------|
| 一般の部 A | 金賞 | コール大東 | 銀賞 | 関西合唱団青年部 Peace & Amuse |
| | 銅賞 | 吹田おらが町コンサート合唱団 | | |
| 一般の部 B | 銀賞 | 関西合唱団 | 銅賞 | 河南混声合唱団 |
| | 銅賞 | 男声合唱団昂 | | |
| 職場の部 | 銀賞 | 国鉄大阪合唱団号笛 | | |
| | 銅賞 | 衛都連合唱団(自治体) | | |
| 女性の部 | 金賞 | レガータ | 銅賞 | おおさかパルコープレインボーコーラス |
| 小編成の部 | 銀賞 | ヴォーカルアンサンブル AVANTI | | |
| | 銅賞 | おじよーズ | | |